

九州リビングウイル研究会in福岡

日時 令和8年2月22日(日) 13:00～16:30(開場12:30)

会場 久留米シティプラザ3階 久留米座

久留米市六ツ門町8-1

西鉄久留米駅西口下車 徒歩10分

定員 350名

参加費
無料
予約不要

テーマ いのちの終わりをどう生きるか —世代を超えて考える命と尊厳のあい方—

【第1部】講演

司会：江口幸士郎（医師、ふくらすすめ家庭医療クリニック院長）

招待講演：小杉寿文（医師、佐賀県医療センター好生館 緩和ケア科）
「安心して生きるための緩和ケア -医療用麻薬も正しく使えば安全-」

講演：齋藤如由（医師、齋藤医院院長、日本尊厳死協会九州副支部長）
「在宅ホスピスケアの実際 -安心して生きるために-」

【第2部】シンポジウム

テーマ：若者世代と共に考える尊厳死

座長：日本尊厳死協会九州支部理事 渡邊理恵

趣旨説明：久留米大学 渡邊理恵
「終末期看護に関する看護教育の取り組み」

基調講演：訪問看護ステーションつばさ 小野幸代
「訪問看護の実際：10代女性の早すぎる死
-訪問看護師を目指した若者から何を学ぶか-」

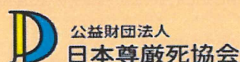
シンポジスト：

渡邊理恵（久留米大学医学部看護学科 看護師・臨床心理士）

小野幸代（訪問看護ステーションつばさ 管理者・緩和ケア認定看護師）

池田健児（ご遺族の立場）

及川千穂（久留米大学医学部看護学科卒業生・病院看護師）



JAPAN SOCIETY FOR DYING WITH DIGNITY



大会長 齋藤如由 副大会長 渡邊理恵

【主催・問合せ先】公益財団法人 日本尊厳死協会九州支部

TEL 0120-211-315（平日10:00～16:00）